

セイノーグループ新年総会で第54回全国トラックドライバーコンテスト特別表彰で表彰状を受け取る尼崎支店西林 仁チーフマネージャー

セイノーは  をつなぐ(継ぐ)

表彰者の紹介は
6ページ

セイノーグループ 新年総会

セイノーグループ
新年総会 社長訓示

笑顔という価値で心をつなぎ、「ありがとう」を
頂くことで世の中を明るくしていこう



セイノーグループ新年互礼会であいさつする田口社長

「伸展の年」 より一層伸ばして、高みを目指す

皆さん、明けましておめでとう
ございます。

セイノーグループ新年互礼会
では、多くの会社を表彰すること
ができました。それぞれの会社が
使命を通して、お客さまの繁栄の
ため、日本を支えていただいでい
ることに心から感謝いたします。

今年は「伸展」の年。より一層提
供できる分野を伸ばして、高みを
目指していきましょう。これを実
践していくためには、個人個人の
自己成長が一番重要なカギとな

ります。「賢く」「優しく」「強く」自
分を成長させることで、お客さま
の繁栄に一層貢献することがで
きます。それがセイノーグ
ループの従業員の幸せにつな
がります。

我々の存在が日本にとって明
るい光になりますよう、今年も皆
さまとご家族のご健勝をお祈り
します。

セイノーホールディングス
代表取締役社長
田口義隆



P9 岡崎支店で行われたIppoベスト
コンシェルジュ表彰式



P10 SSX本社および同敷地内の事業所
にて、火災発生を想定して消防避
難訓練を実施した



P7 25社に第39回セイノーグループ表彰が贈られた

目次

- P1 ▶▶▶ Light up
- P2 ▶▶▶ 羅針盤
- P6 ▶▶▶ NEWS JCT
- P12 ▶▶▶ SEINO SPORTS
- P14 ▶▶▶ セイノーランキングTOP10
- P16 ▶▶▶ つなぐリレー
- P17 ▶▶▶ Information



「輸送立国」 セイノー輸送グループ使命

物流を超えて、お客様に喜んで
頂ける最高のサービスを常に提供し、
国家社会に貢献する。

「価値創造」 セイノーグループ使命

◆セイノーは戦後の混乱期、まだモノが届くことが確実ではなかった時代に、日本初となる長距離路線網を構築した。その後、聞き届けに徹すること
で新たな価値を創造し、「路線のハイオンズ」「輸送のセイノー」というブ
ランドを築いてきた。そして、昨今の情報通信技術（ICT）の目覚まし
い発展により、産業構造が大きく変わりつつある中で、我々も新たな「価
値創造」に向けたトランスフォーメーションを始めている。

◆本年はこの新化を加速させ、従業員もグループ全体として、持っている可
能性を大きく伸ばし発展していくために、スローガンを「伸展」とした。我々
が行っていくのは、お客様の総合窓口とOne Stop/One Stressな価値
提供を目指す、「すべての人に笑顔と幸せをお届けする」ことである。

◆卯年は、これまでの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍するという伸展に
ふさわしい年。SEINOLIMITの精神で、O.P.P.という開かれたフ
ラットフォームによって他社ともつながり、共創を進めることで、持続可能
な未来に向かって大きな一歩を進めよう。すべてはお客様の心をつなぐため。

今日から使える外国語講座

企業活動のグローバル化とともに、会社でも海外出身の社員の姿が珍しくなくなりました。突然隣の席に座った、言葉も文化も違う同僚と、どう付き合えばいいのでしょうか？このコーナーでは、セイノーグループに在籍している彼らとの会話のきっかけになるあいさつフレーズや、ビジネスの場面で使える外国語などを短く簡単に紹介していきます。

意味が異なる漢字

	読み方	中国語の意味
検討	ジェンタオ	反省する
経理	ジンリー	部長、マネージャー ※ちなみに…「総経理」は社長の意味
床	ツワン	ベッド
得意	ドゥー(ア)イー	自慢する
暗算	アンスワン	密かにたくらむ



第11回目は西濃運輸 国際部国際課、
中国の江西省出身の龍桜紫さんが教えて
くれます。中国語は日本語と同じく「漢字」
を使います。そのため中国語を勉強して
いなくても、漢字から文章の内容を推測
できるかもしれません。しかし中には、中国
語と日本語で意味が異なるものがあるた
め注意しましょう。

西濃運輸 国際部国際課
龍桜紫さん
(中国 江西省出身/2020年入社)

笑顔という価値で心をつなぎ、「ありがとう」を頂くことで世の中を明るくしていこう

明けまして、おめでとうございます。「伸展」の年にあたり、皆さんと共にグループ全体の考え方をお話しさせていただきます。本日伝えたいことすべてに一貫しているのが、「お客さまの繁栄のため」に、いかに「ありがとう」を頂ける行動をしていくか、ということ。「ありがとう」は、お客さまに喜んでいただいた証であり、全従業員の自発的な行動によって成し得るものです。

セイノーホールディングス 代表取締役社長

田口義隆



こと。この二つの流れは不可逆で、戻ることはありません。これが我々にとって、大きなチャンスになります。

このような社会背景から、我々はより大きな市場へ価値提供する領域を拡げていきます。お客さまが必要としていることを提供するために、これからは物流を超えてお客さまのお困りごとをサポートします。お客さまも人手不足ですので、人材派遣ができるようトランスフォーミングしていく。同時にすべてのバリューチェーンに対してアクセスするために、貸切、ラストワンマイルなども、どんどんトランスフォーミングしていきます。貸切の市場は、特積みの約15倍もある。我々の強い特積みを軸足にして、貸切にもトランスフォームできます。また、成長続けるEC市場もt o C、t o P、パーソナル、t o ポス

2022年の振り返り

昨年は、戦争が勃発したり元首相が暗殺されたりという、おそらく世界史に残るような激動の年になってしまいました。新型コロナウイルスの影響から、まだ復活もしていません。そのような中ですが、皆さんが物流を止めないという強い気概をもって、社会インフラとして物流を止めることなく、国家社会に貢献していただきました。心から感謝しています。

業績は、上期計画した利益より下振れしたものの、皆さんの頑張りのお陰で前年より増収増益となり、大きく改善できたことに感謝しています。自動車販売においては、半導体不足によ

2022年の業績

上期計画に対して利益は下振れも、増収増益、前年より大きく改善



特に自動車販売においては、売上が減少も利益は改善

将来を見据えた組織の再編

2023年4月 4社統合により

- ▶ 運行効率の全体最適化によるローコストオペレーション
・目指す効果 6,000百万円/年
- ▶ 組織の再編により管理部門をスリム化、営業・ロジ部門を強化



新SEINOとして第一歩を踏み出し、国家社会に新たな光を当てていくことで、お客さまの繁栄につなげる



トへ変わっていきます。そのため、いかにラストワンマイル、ラストワンステップを強くするかどうかというところが、物流の水平の動きです。垂直の動きとしては、人の採用や生産代行、生産管理なども我々にお任せいただけると、お客さまにノーストレスなサービスが提供できるようになります。そのため二つの会社にグループに入っていただきました。ハコベルは「空気を運ばずに、空気をきれいにしよう」というコンセプトの会社です。我々は、皆さんの努力で往復の積載を高めて効率の良い輸送ができていますが、貸切業者になると、40%程度は空間を運んでいくといわれています。それをうまくマッチングさせ、効率良く運べるようにするのがハコベ

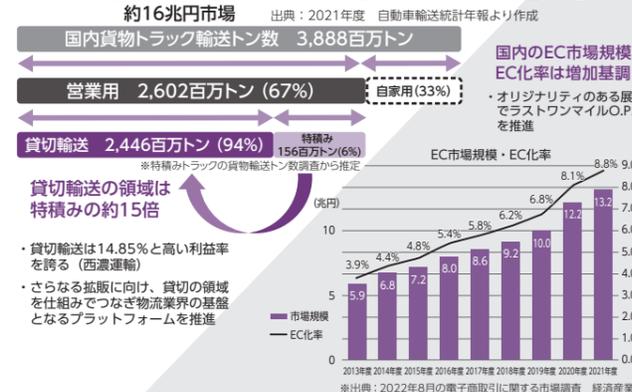
日本の将来を見据えて

日本が生産できないなどの外的要因がありましたが、車両販売ビジネスからメンテナンスビジネスに切り替えることで、増益を確保していただきました。環境が変わっても、しっかり対応できた良い事例だと思います。

日本の将来を見据えて、当社がトランスフォーミングを図っていくことが、いかに重要かを話しています。日本は今、二つの大きな潮流が変わってきています。一つは、人口減少とともに高齢化が進み、労働人口が顕著に減少していくこと。もう一つは、グリーン（環境）に向かっていく

より大きな市場へのアプローチ

利便性の高いサービスの提供と輸送の安定供給を実現



当社が目指す姿

また、セイノー本体としても、4月より東海西濃運輸、濃飛西濃運輸、関東西濃運輸と一緒に一つ一つの大きな西濃運輸となり効率化を推進し、ロジのセイノーへとさらなる営業面の強化を図っていきます。輸送グループのみならず、自動車販売グループにおいても同様です。本年1月にトヨタカローラ岐阜とネットトヨタ岐阜を合併し、トヨタカローラネット岐阜として新たなスタートを切りました。これで岐阜県の最大のディーラーの設計ができました。

当社が目指す姿は、「ありがとう」を頂く行動をすることで、「すべての人に笑顔と幸せをお届けすること」です。それを実現するために、我々がどのような考え方をもち、どのような行動が必要か、その思いをお話しします。すべての人に笑顔と幸せをお届けするには、将来にわたって持続できるサステナブルな社会の実現が不可欠です。そのため当社は「Green物流」を推進していきます。O.P.P.の概念をすでに推進していただけていますが、それぞれの会社がまだ無駄・無理をやっているところを一緒にして、効率を上げていきます。Green物流によって解決すべき課題はCO₂削減であり、これを共同化やシェアリングといった形で、業界の効率化を図



セイノーホールディングス

- 最優秀賞**
 セイノーロジックス
 (本社/横浜市西区、中山宏志社長)
 セイノースーパーエクスプレス
 (本社/東京都江東区、増田 敦社長)
 東海西濃運輸
 (本社/岐阜県土岐市、田口幸太郎社長)
 セイノー情報サービス
 (本社/大垣市田口町、林 秀樹社長)
- 優秀賞**
 GENie
 (本社/東京都中央区、河合秀治社長)
 二葉工業所
 (本社/岐阜市石切町、長谷部紀之社長)
 セイノー通関
 (本社/東京都中央区、信田 淳社長)
 西濃産業
 (本社/大垣市大井、高橋顕良社長)
 三重西濃運輸
 (本社/三重県鈴鹿市、傍島正法社長)
 西濃シエンカー
 (本社/横浜市西区、王 秀敏社長)
 セイノースタッフサービス
 (本社/大垣市田口町、清水保次社長)
 沖縄西濃運輸
 (本社/沖縄県宜野湾市、松川直哉社長)
 昭和冷蔵
 (本社/神奈川県川崎市、濱崎俊則社長)
 濃飛西濃運輸
 (本社/岐阜県関市、小森紳司社長)
 四国西濃運輸
 (本社/愛媛県東温市、四方 清社長)
- 敢闘賞**
 新太田タクシー
 (本社/岐阜県美濃加茂市、梅村和行社長)



後列左から
 旭エントナープライズ 田口隆男社長、日本物流開発 杉山社長、泉州運輸 高瀬
 取締役、朝日梱包 今城社長、ユニクラ自工 廣瀬執行役員、東京車輻 石原社長、
 西濃自動車学校 高木社長、埼玉西濃運輸 石井社長、滋賀日野自動車 若園社長
 中央左から
 四国西濃運輸 四方社長、昭和冷蔵 濱崎社長、セイノースタッフサービス 清水
 社長、三重西濃運輸 傍島社長、セイノー通関 信田社長、西濃産業 高橋社長、
 セイノーシエンカー 王社長、沖縄西濃運輸 松川社長、濃飛西濃運輸 小森社長、
 新太田タクシー 梅村社長
 前列左から
 GeNie 河合社長、東海西濃運輸 田口幸太郎社長、セイノーロジックス 中山
 社長、田口義隆社長、セイノースーパーエクスプレス 増田社長、セイノー情報
 サービス 林社長、二葉工業所 長谷部社長

西濃運輸



松岡 義雄 氏
 (74歳)

- 1972年 3月 西濃運輸 入社
- 1988年 2月 同社 経理部会計課課長
- 1997年 4月 同社 経理部次長
- 1999年 6月 同社 経理部部長
- 2002年 6月 同社 常勤監査役
- 2005年10月 セイノーホールディングス 常勤監査役
- 2009年12月 田口福寿会監事
- 2012年 7月 田口福寿会事務局長



寺田 新吾 氏
 (64歳)

- 1980年 3月 西濃運輸 入社
- 1997年 6月 同社 経理部経理課課長
- 2001年 7月 同社 経理部次長
- 2002年 7月 同社 経理部部長
- 2005年11月 セイノーホールディングス経理部部長(兼任)
- 2008年 6月 西濃運輸取締役経理部担当 兼 債権管理部担当
- 2009年 4月 セイノービジネスサポート代表取締役社長(兼任)
- 2010年 4月 西濃運輸取締役経理部担当
- 2012年 4月 セイノービジネスサポート取締役(兼任)
- 2012年 6月 セイノーホールディングス常勤監査役

セイノーホールディングス

- 優秀プランナー表彰**
- 坂本卓也主任 (相模原支店)
 - 前川真吾さん (佐倉支店)
 - 見並俊輔係長 (岐阜物流)
 - 石黒貴俊係長 (東京本社)
- 代理店表彰**
- 鹿沼梱包運輸 (白井邦彦社長)
 - 丸長運送 (井戸清明社長)
 - ヨーロー西濃集配 (淡谷利之 代表取締役)
 - 大長運輸 (芳仲清吾 取締役社長)
- 優秀営業乗務社員表彰**
- 岩田翔平主任 (名古屋西支店)
 - 安達亮介主任 (名東エリア)
 - 水谷正一主任 (滋賀支店)
 - 山本 淳係長 (市川支店)
 - 藤田貴大係長 (三岐エリア)
 - 高井聡樹副主任 (小牧支店)
 - 西本 豪さん (市川支店)
 - 木村祐太 サブリーダー (船橋支店)
- 優秀プランナー表彰**
- 白石 悠さん (船橋支店)
 - 高橋謙二 リーダー (船橋支店)
 - 小倉尚己 サブリーダー (成田支店)
 - 田村祐貴さん (錦糸町支店)
 - 中村政之さん (甲府支店)
 - 中屋敷一也さん (市川支店)
 - 安達 駿さん (京浜支店)
 - 光本崇文 サブリーダー (錦糸町支店)
- 優秀営業乗務社員表彰**

2023年優秀社員、代理店が決定

2023年代理店表彰、優秀プランナー表彰、優秀営業乗務社員表彰の受賞者が発表されました。

114

**新たに3名が
西濃運輸名誉社員に**

西濃運輸名誉社員表彰式が行なわれ、3名の方がその栄に浴された。



大塚 委利 氏
 (74歳)

- 1971年 3月 西濃運輸 入社
- 1983年 4月 同社 東京航空支店所長
- 1986年 1月 同社 名古屋航空海運支店営業所長 兼 航空海運事業部航空海運課課長
- 1988年 8月 同社 名古屋航空海運支店支店長
- 1989年 2月 同社 航空海運事業部航空海運部長
- 1997年 4月 同社 小牧支店支店次長
- 1999年 5月 同社 中部地区ロジスティクス部部長
- 2000年 4月 同社 営業企画室室長
- 2001年 3月 同社 ロジスティクス部部長
- 2001年11月 同社 営業部部長

- 2003年 6月 同社 取締役営業本部担当
- 2005年10月 同社 取締役経営改革本部担当
- 2005年10月 セイノーホールディングス 経営企画室担当(兼任)
- 2006年 6月 西濃運輸 取締役経営企画室担当 兼 輸送事業企画部担当
- 2008年 6月 同社 取締役経営企画担当 兼 情報システム部担当
- 2009年 4月 西武運輸(現セイノースーパーエクスプレス) 代表取締役副社長 兼 九州西武運輸株式会社副社長
- 2009年 6月 セイノーホールディングス 取締役輸送事業企画部担当
- 2010年 6月 セイノースーパーエクスプレス 代表取締役社長(兼任)
- 2011年 4月 西濃運輸代表取締役社長 兼 セイノーホールディングス 取締役事業推進部担当(輸送事業関連)
- 2015年 6月 セイノーホールディングス 取締役新規事業開発部担当 兼 事業推進部担当(輸送事業関連) 兼 情報システム部担当
- 2016年 4月 西濃運輸 取締役相談役
- 2017年 4月 同社 相談役
- 2017年 6月 セイノーホールディングス相談役



セイノーホールディングス

SHD 10 3 4 8 12 13

**新スマート物流SkyHub®
 で地域課題を解決**

セイノーホールディングスでは、過疎化や高齢化などの地域課題を解決するため、ドローン配送を活用した新スマート物流SkyHub®の社会実装を進めている。

10月4日には、地上輸送とドローン配送を連結して、買い物代行や災害時支援、医薬品配送などに取り組む包括連携協定を、群馬県安中市と締結。12月13日には、石川県小松市とも連携協定を結び、中山間地域の地域課題の解決に向けて、ドローン配送の実証実験を行うこととした。

また、10月3日には、茨城県境町と連携協定を締結するとともに、ドローンや自動運転バス、トラックなどを組み合わせた物流システムの実証実験を実施。10月8日には、福井県敦賀市において、アプリで買い物した食料品や日用品をドローンなどで配送する社会実装がスタートしている。



敦賀市のドローンスタンドに商品の入った箱を置いて立ち去るドローン

セイノーホールディングス

1 14

全国トラックドライバー・コンテスト出場者 特別表彰

第54回全国トラックドライバー・コンテスト出場者 特別表彰が行われた。

選手表彰

総合得点1位 内閣総理大臣賞
 11トン部門 1位
 西林 仁(西濃運輸 尼崎支店)
 11トン部門 4位
 松本 幸弘(四国西濃運輸 松山支店)

事業所表彰

国土交通大臣賞
 西濃運輸 尼崎支店
 全日本トラック協会会長賞
 四国西濃運輸 松山支店



後列左から 尼崎支店岩崎智和支店長、松山支店岡崎哲郎取締役支店長
 前列左から 尼崎支店西林 仁チーフマネージャー、田口義隆社長、小寺康久社長、松山支店松本幸弘班長

スイトトラベル

10 13

交通安全協会から感謝状

スイトトラベル(本社/大垣市旭町、梅村和行社長は、愛知県一宮市萩原町交通安全協会から感謝状を授与された。萩原町で運行するコミュニティバス「ニコニコふれあいバス」で、運行開始から15年間にわたり無事故だったことに加え、地域の交通手段として親しまれるよう努力したことが評価された。



ニコニコふれあいバスの運行を管理する一宮営業所 山田信行所長

セイノーホールディングス

SHD 10 6

福井県と包括連携協定

セイノーホールディングスは、福井県と県政全般に係る包括連携協定を締結。敦賀港の利用拡大や災害時における物流支援、ドローンを活用した新スマート物流などに取り組んでいく。福井県庁で行われた締結式で、杉本達治知事と田口義隆社長が協定書を取り交わした。



(左) 田口義隆社長 (右) 杉本達治福井県知事

セイノーホールディングス

1 14

7名に感謝状を贈呈

長年にわたりセイノーグループの発展に尽力し、その功績に対する感謝の気持ちを込めて、7名の方々に感謝状が贈られた。

- 大塚 委利 氏
- 寺田 新吾 氏
- 松岡 義雄 氏
- 森 正孝 氏
- 奥田 繁吉 氏
- 佐藤 幸男 氏
- 山内 義文 氏

沖縄西濃運輸

9 1~12 1

**小口混載輸送サービスの
 実証事業を受託**

沖縄西濃運輸(本社/沖縄県宜野湾市、松川直哉社長と、南西地域産業活性化センター(NIAC)は、内閣府沖縄総合事務局から委託されて、事業者向けの小口混載輸送サービス実証事業を実施。沖縄県では県外からの運送量が多く、県外への運送量が極端に少ないため、県外輸送がコスト高になっている。こうしたことから、県外へ運送する小ロット商品を集荷、海上コンテナに混載して輸送する実証事業を通じ、コスト高の実態を踏まえて、輸送コストの削減策を検討していく。

西濃運輸

10 18 12 14

ベストコンシェルジュ表彰式

西濃運輸は、2022年第1、第2四半期のIppoのベストコンシェルジュ表彰式を行った。第1四半期は岡崎支店の日比野貴利副主任、第2四半期は仙台支店の鹿野真光班長が受賞。どちらも他社のサービスを活用した提案が評価され、今後もお客さまから頼りにされる存在になりたいと豊富を語った。



Hello Kitty
 © 23 SANRIO APPR. NO. L630842
 左から、木村智淳執行役員東北エリア統括マネージャー、小寺康久社長、鹿野真光班長、ハローキティ、生越 裕仙台支店支店長

ハコベル

10 14

**サポーターズプログラムで、
 セイノー商事と協業**

ハコベル(本社/東京都品川区、狭間健志社長CEO)では、セイノー商事(本社/大垣市田口町、野水優治社長)と協業して、運送会社や個人ドライバーを支援する「ハコベルサポーターズプログラム」で、物流関連資材の特別プラン提供を開始した。配送の担い手不足が予測されているなか、ハコベルでは荷主とドライバーをマッチングするサービスを展開。この一環として、燃料のほかにタイヤ関連資材や車両・配送資材などを、市場価格より安価に購入できるようにする。

関東西濃運輸

10 1 2

**とちぎ国体で交通警備の
 資材を設置・回収**

関東西濃運輸(本社/群馬県安中市、日比野利夫社長)の宇都宮支店は、とちぎ国体の交通警備で栃木県警が使用するコーンやポールなどの配送を行った。天皇皇后両陛下らが開会式にご出席されることから、早朝から5ルートにわかれ、新型の4tウィング車で約1万点を設置。交通警備の終了後に回収した。本業務に当たり、ロジスティクス部と店所が打合せやコミュニケーションを繰り返し、当日、スムーズに終わることができた。

西濃運輸

9 21

**閉鎖した板橋支店を、
 災害救助訓練に提供**

9月4日に業務統合にともない閉鎖した板橋支店を、解体工事の前に災害時の救助訓練の場として、板橋消防署に提供。訓練当日は、施設内に取り残された被災者の救助を想定して、壁の反対側に要救助者がいる壁体突破訓練や、壁に迅速に救出穴を開ける壁体破壊訓練などが行われた。



建に防に雄
 隊の士長
 隊員が実際
 物で訓練する
 なったと、東
 からの感謝状
 する当時の藤
 若手署員が実
 隊員が実際
 物で訓練する
 なったと、東
 からの感謝状
 する当時の藤
 若手署員が実



九州西濃運輸 11/16/24

**宮崎支店と熊本支店が、
優秀安全運転事業者表彰**

九州西濃運輸(本社/福岡市博多区、西浦敏哉社長)の宮崎支店と熊本支店は、自動車安全運転センターの優秀安全運転事業者表彰において、熊本支店が金賞、宮崎支店が銀賞を受賞。熊本支店は、お客さまから「プロドライバー」として見られているという意識を持つこと、宮崎支店は事故事例を自身に置き換え考える習慣づけを行っている。



11月22日、熊本県警本部で表彰状を授与される宮原秀基熊本支店支店長

セイノースーパーエクスプレス 11/24

**相模原航空営業所が
リニューアルオープン**

セイノースーパーエクスプレスの相模原航空営業所では、改修工事が終了し新しい施設での営業を開始。1969年から約50年間使用してきた建物が老朽化したため、物流倉庫を併設するなど作業環境を充実するとともに、社員の衛生環境を改善することで働きやすい職場づくりを目指した。



リノベーションした物流倉庫を活用して新規顧客を開拓していく

西濃運輸 STC 10/27

救援物資の配送訓練

西濃運輸は、神奈川県相模原市、日本GLP、佐川急便と、4者合同の救援物資配送訓練を行った。今回の訓練では、救援物資が到着するまでの情報伝達、救援物資の到着・受入、避難施設ごとの自動仕分け、トラックでの出庫・配送までの一連の流れを想定。実際の有事の際に迅速な対応を行うために有意義な訓練となった。



西濃運輸と佐川急便は、相模原市にある日本GLPの施設に入居している

四国西濃運輸、セイノースーパーエクスプレス 10/18/11/30

消防避難訓練を実施

四国西濃運輸(本社/愛媛県東温市、四方清社長)とセイノースーパーエクスプレス(本社/東京都江東区、増田敦社長)は、それぞれの会社で消防避難訓練を行った。四国西濃運輸では本社と松山支店が合同で、東温消防署立ち会いのもと消火器による消火訓練も実施。また、SSXでは本社および同敷地内の事業所で自衛消防隊が先導して、出火時の手順や避難ルートなどを確認しながら避難した。



四国西濃運輸では、10月中旬に全店所で避難訓練あるいは通報訓練を実施している

セイノースーパーエクスプレス 12/9

静岡航空営業所で地鎮祭

セイノースーパーエクスプレスの静岡航空営業所は、2023年5月のリニューアルオープンをめざし、事務所棟の地鎮祭を行った。これまでの施設や設備が老朽化したため、事務所棟を同じ敷地内に新しく建て替える。荷さばきスペースは拡張することで、保管機能を有した建物にリニューアルする。ホーム他は2024年に改修工事が完了する。



新しい静岡航空営業の完成イメージ、事務所棟が先に完成し、移転する

西濃運輸 11/28

**エコドライブ活動コンクールで、
2年連続の優秀認定証**

西濃運輸はエコドライブ活動コンクールにおいて、昨年に続き2年連続となる事業部門の優秀認定証を受賞。交通エコロジー・モビリティ財団では、CO₂の削減などエコドライブについて優れた取り組みをしている事業者や団体を毎年表彰している。西濃運輸は、「日ごろから「エコ安全ドライブ5か条」を徹底するほか、昨年度にはEVTトラックを初導入するなどグリーン物流を進めており、2024年以降に可能となる3回目の国土交通大臣賞を目指す。

西濃運輸 11/6

**地域ふれあいの会で、
乗車体験を実施**

西濃運輸の名古屋東支店では、愛知県日進市の赤池小学校で、「赤池区ミニ防災&地域ふれあいの会」に参加した。警察や消防、自衛隊の車両とともに、大型トラックを展示したほか、乗車体験を実施。当日は、約200人の子どもと保護者が体験し、運転席から見る景色に歓声を上げていた。



地域貢献の一環として、来年以降も参加していく

西濃運輸 11/1

**省エネルギー
シンポジウムで登壇**

西濃運輸は、中部経済産業局が主催する「2050年カーボンニュートラルへの道」をテーマにした省エネルギーシンポジウムに参加。CO₂削減と働き方改革への取り組みについて発表するとともに、パネルディスカッションでは、パネリストとして省エネ対策について意見を述べた。



省エネルギー対策について事例発表する執行役員 梶矢 亮運行部部長

トヨタカローラネット岐阜 1/1

**岐阜県最大級の規模を誇る
トヨタディーラーが誕生**

トヨタカローラ岐阜とネットトヨタ岐阜が合併して、「トヨタカローラネット岐阜」(本社/岐阜市六条大溝、田口隆男社長)が誕生。全国のトヨタ販売店でオール併売化となったことから、両社では合併に向けて準備を進めてきており、新車店舗60店、Used Car店舗14店、併売店舗2店、また、社員数1446人の岐阜県最大級のトヨタディーラーとなった。今後も、お客さま第一主義の考えのもと、安心と信頼を感じてもらえるようなサービスの向上を目指していく。

西濃運輸 STC 12/5

**成田国際空港において、
CEIV Pharmaを取得**

西濃運輸は、成田国際空港において国際航空運送協会(IATA)の医薬品航空輸送品質認証「CEIV Pharma」を取得。これは医薬品の航空輸送におけるグローバルな統一基準であり、今後、温度管理が必要である医薬品において、国内輸送と国際輸送を一貫して行える体制を構築していく。



(右) 認定証を受け取る 服部千太郎取締役 ロジスティクス部担当

西濃運輸 11/16

**西枇杷島保育園で、
交通安全教室を実施**

西濃運輸の枇杷島支店(名古屋市区、滝戸一弘支店長)は、愛知県清須市にある西枇杷島保育園で交通安全教室を実施。トラックの前に横断歩道に見立てたシートを敷いて、みんなが実際に渡ってみることで、トラックの運転手からは園児が見えないことなどを体験。また、トラックへの商品の積み込みのほか、大人気のカルちゃんとの記念撮影も行った。



当日は156人の園児が参加し、クラフト貯金箱とノートをプレゼントした

四国西濃運輸 11/6

**安全性優良事業所
兵庫陸運部長表彰**

四国西濃運輸の淡路営業所は、安全性優良事業所の兵庫陸運部長表彰を受賞。国土交通省が、トラック事業者の安全に関する取り組み状況を、定められた基準に基づいて審査し、安全性優良事業所として認証するGマーク制度。このGマークを長年維持していることが評価された。



(左) 山名生也兵庫陸運部長、(右) 淡路営業所十亀哲史所長



空手道部

創部10年の節目の年 飛躍の年に

西濃運輸空手道部(加藤周治部長、若井敦子総監督、本間絵美子監督)は、1月5日に今年の活動を開始した。加藤部長は、「会社のスローガン「伸展」の通り、積み上げてきたものを

を出し切り、飛躍する年にしたい。良いスタートダッシュを決めよう」と意気込みを語った。若井総監督は、「空手道部が正式な運動部になってから今年で10年の節目の年。兎にも角にも上へ上がるだけ。過去にない最高の勲章を手に入れよう」と激励した。



SCHEDULE 今後のスケジュール(空手道部)

4月 9日 ●令和5年度岐阜県空手道競技会
場所/岐阜メモリアルセンター・ふれ愛ドーム

都市対抗野球本戦出場は マスト!

野球部

西濃運輸野球部(田口義展部長、佐伯尚治監督)は、1月5日に西濃運輸本社内の成田山で練習はじめの必勝祈願を行った。田口部長は「昨年は2名がプロへ行き、今年は新たなメンバーを11名迎えます。都市対抗野球本戦出場はマスト!今年1年気を引き締めていきましょう」と激励した。佐伯監督は「都市対抗野球大会の3年連続の代表権獲得、そして日本一という目標に向かって、いろんな状況に対応できるチームになっていこう」と意気込みを語った。



SCHEDULE 今後のスケジュール(野球部)

3月	18日~5日間	●2023年度社会人野球東海地区春季大会 場所/岡崎レッドダイヤモンドスタジアム
4月	5日~5日間	●第69回JABA静岡大会 場所/浜松球場・清水庵原球場
4月	13日~5日間	●第64回JABA長野大会 場所/長野オリンピックS・佐久市運動公園野球場

空手道部

11 9

空手道部

12 10・11

久保選手に大垣市教育委員会表彰
大垣市教育委員会が大垣市の教育振興に顕著な功績があった人を表彰する令和4年度の市教育功労者の表彰式が、大垣スイトピアセンターで行われた。西濃運輸空手道部の久保悠大選手は、第1回全日本実業団空手道選手権大会 組手競技男子個人戦で優勝した功績が評価され、表彰を受けた。久保選手は「これから大垣市を盛り上げ、大垣市の発展に貢献できるよう頑張ります」と喜びを語った。



表彰された久保選手

男子個人組手 大滝隆成 ベスト16 (16位/56人中)
男子団体組手 岐阜県代表 ベスト16 (16位/47都道府県)
西濃運輸空手道部から辻一寛・大滝隆成・久保悠大の3名が選抜出場



(左)解説を務めた新馬場コーチ



左から大滝選手・辻選手・久保選手

第50回 全日本空手道選手権大会

西濃運輸空手道部は、「第50回 全日本空手道選手権大会」の岐阜県代表として、男子個人組手・男子団体組手に出場した。大滝隆成選手・辻一寛選手・久保悠大選手は、個人・団体ともにベスト16と健闘した。大会当日は、75名の会社関係者が応援に駆けつけ、試合を盛り上げた。
また当日、西濃運輸空手道部の新馬場コーチが、ラジオ解説者として日本武道館での個人戦を分かりやすく実況。「初めての経験でしたが、事前に選手のリサーチをしていたので楽しく話せました」と振り返った。
『第50回 全日本空手道選手権大会』

野球部

12 9

野球部

10 23

城野捕手に新人賞と特別賞!
中村選手と森選手に功労賞!
名古屋市内で社会人野球の日本野球連盟東海地区連盟の納会が行われ、西濃運輸野球部の城野達哉捕手が新人賞に選ばれた。さらに、第4回 WBS C U-23ワールドカップに日本代表として出場、優勝したことが評価され、特別賞も贈られた。
2022年シーズンををもって引退した中村優太選手と森智仁選手の2名は、東海地区連盟に10年以上の長きにわたり貢献した勇退者へ贈られる功労賞を受賞。



左から城野選手・中村選手・森選手

U23侍ジャパン優勝
城野捕手が出場
台湾で開催された「第4回 WBS C U-23ワールドカップ」で、「侍ジャパン」U-23代表は韓国との決勝で3-0の完封勝利を飾り、2016年の第1回大会以来、3大会ぶり2度目の優勝を果たした。西濃運輸野球部から選出された城野達哉捕手は、「初めての日本代表で世界一になって素晴らしい経験ができた。今回学んだ知識、経験を今後の野球人生に活かすとともにチームにも情報を共有し、さらにチームが発展していくように努力したい」と大会を振り返った。



PICK UP! SPORTS

グループに入って変わったこと

ハコベルは、ラクスル(株)の「仕組みが変われば、世界はもっと良くなる」というビジョンの基、「物流の次を発明する」という使命をもって、物流業界が抱える課題を解決するため、事業がスタートしました。事業を展開していくなかで、物流業界での知名度・営業ネットワーク・信頼度が他社に比べ弱いことが課題としてありました。セイノーグループ入りしたことで、お客さまにも当社をアピールしやすくなり、ハコベルコネクトやハコベルカーゴなどを営業しやすくなりました。また、物流業界で働く企業・人を支えるためハコベルサポーターズプログラムにおいてセイノー商事と連携できることになり、配送に必要となる燃料などをはじめとした物流関連資材の特別プランの提供を開始しました。この仕組みを通じて、多くの運送会社・ドライバーにとっての大きな負担となる燃料コストへの価格貢献を通して物流業務に専念できる環境を整備しました。ハコベルのテクノロジーとセイノーグループが持つ物流サービスを組み合わせることによって、物流業界にイノベーションを起こせると考えております。



セイノーグループ入りしたことで、新たにサービス提供できるようになったこと

今後の事業展望について

物流業界には、多重下請け構造やドライバーの人手不足などの課題が存在しています。ハコベルが進めてきた、あらゆるステークホルダーを巻き込んだ複数サービス相互乗り入れを可能としたプラットフォームである「オープン・パブリック・プラットフォーム」を通し、物流に関するストレスを解消し、物流業界で働く方が、誇りを持って業務ができるようにしたいと考えています。

グループ入り後、お客さまからの反応に変化があったこと

今までお客さまに営業の提案をする際は、貸し切りのマッチング提案のみとなっていました。グループ会社入りしたことで、セイノーグループが持つ路線便との組み合わせに対する問い合わせが増え、おり、お客さまから期待の声を聞いております。日本全国に支店があるグループの拠点や幹線輸送網を活用させていただき、さらなるオープン・パブリック・プラットフォームの拡充を目指します。

今回のランキングテーマは

フレッシュなグループ会社

セイノーグループには、輸送グループのほかに、自動車販売グループや関連事業グループと、さまざまな事業を行う会社があります。現在は90社が名を連ねています。今回はセイノーホールディングスとラクスルのジョイントベンチャーとして設立された、一番新しいグループ会社「ハコベル株式会社」を取り上げます。そこでは従業員がどのような業務を行っているのか、その仕事内容を伺います。



第1位 ハコベル

2022年8月

第2位 モエアグリファーム 2019年4月

第3位 LOCCO 2016年3月

第4位 GENie 2016年7月

第5位 インテンツ 2015年4月

第6位 大阪高速乳配 2012年1月

第7位 ココネット 2011年1月

第8位 関東ロジテック 2010年1月

第9位 ベクトルワン 2010年9月

第10位 エコアライアンス 2009年6月

グループ会社
90社



※海外拠点を除き日本に拠点がある企業より選定

PROFILE

ハコベル株式会社

本社所在地：東京都品川区上大崎2-24-9
アイケイビル1F
設立年月日：2022年8月1日
従業員数：66名(山向者含む)
事業内容：物流のシェアリングプラットフォーム「ハコベル」の運営



狭間CEO

私たちの職場

物流のプラットフォーム「ハコベル」は、個人や企業への配送を行うラストワンマイルから、都市間の輸送などを行う幹線輸送まで、全国の物流を支えるサービスを展開しています。軽貨物を対象とした「ハコベルカーゴ」では、ドライバーの非稼働時間を有効活用し、荷主とドライバーを直接マッチングさせることで、高品質かつ低価格な配送の仕組みを提供しています。サービス利用後には利用者がドライバーを評価する仕組みを設け、サービス品質向上を実現しています。一般貨物を対象とした「ハコベルコネクト」は荷主と全国の運送会社をつなぎ、Webアプリケーション上で自社の車両、協力会社の車両を管理し、配車、請求管理を行う機能と、ハコベル配車センターへの配車依頼を行う機能を備えています。物流コストを削減させ、DXを推進する企業の支援に取り組んでいます。

どんな仕事をしていますか？

ハコベルの事業とセイノーホールディングスの事業領域とのシナジー推進をメインに、顧客の課題解決のためにはどのように価値提供できるか考え、計画や方針決めをしています。サービスがお客さまの利便性につながったときに、やりがいを感じます。

事業において、プロダクトを起点としたビジネスの成長を満すために、短期または中長期で何を・どのような順序で行うべきなのかの管理・運用に責任を持っています。各事業部関係者と課題解決を推進するなかで、新たな価値を提供できるようになり、担当したサービスが売上増につながったときやりがいを感じます。



執行役員事業開発部
部長 石川 瞬 (2016年入社)



プロダクトマネージャー
坂元 颯汰 (2022年入社)

☀️ <<1日 日出6:53 日入17:20>>

☀️ <<1日 日出6:24 日入17:48>>

☀️ <<1日 日出5:41 日入18:14>>

2
FEBRUARY

3日 節分
冬の土用明け
4日 立春
10日 第3四半期決算発表
11日 創業記念日
建国記念の日
23日 天皇誕生日

3
MARCH

3日 桃の節句
6日 啓蟄
18日 春の彼岸入り
21日 春分の日
24日 春の彼岸明け

4
APRIL

1日 セイノーグループ社長会
※状況により4月4日(火)午後Web開催の場合あり
3日 新入社員入社式
西濃運輸合同会議Web開催
5日 清明
17日 春の土用入り
20日 穀雨
29日 昭和の日

Information

ロジのセイノーの魅力が伝わるアイデアを募集します!

■お客さまの役に立つ動画・資料を制作しています

ロジスティクス部では西濃運輸のサービスに興味を持ってもらうため、お客さまの役に立つ資料(事例紹介や物流トレンド解説)の制作に励んでいます。

<https://www.seino.co.jp/seino/service/domestic/logistics/shiryo-d/>

■ご意見やアイデアをお聞かせください!

より幅広いお客さまに興味を持ってもらうため、HPに掲載する物流情報を皆さまより募集します。

「こんな情報があると役に立つと思う!」
「お客さまからこんな問い合わせを受けることが多い」
などのご意見・情報・アイデアをお教えてください!

▼アンケートフォーム

https://docs.google.com/forms/d/14gWCuly62r0N4QtDOj7N0IN_WqN-nFRBOeOk_M54YOI/edit



お問い合わせ先
西濃運輸ロジスティクス部
03-3851-2600 (内線 830-1174)

制作例「お客さまインタビュー動画 株式会社オサダさま」



ロジスティクスサービスを通じた価値提供の事例を8分の動画にまとめました。
お客さまにとってセイノーのロジはどんなメリットがあったのか、わかりやすく紹介しています。

▼お客さまインタビュー動画

https://www.seino.co.jp/seino/company/movie/logipr_interview/

※HPの閲覧については、個人のPC・スマホからお願いいたします。

ご存知ですか? 新語・流行語

メタバース

仮想空間、仮想現実などと訳される、インターネット上で提供されるもうひとつの世界、およびそこで提供されるサービスのこと。ビジネスでの活用例として、Meta (メタ) が公開した「Horizon Workrooms (ホライズン ワークルーム)」は、仮想空間のオフィスにアバターで出社し、同僚とコミュニケーションや会議を行えるバーチャルオフィスを展開している。

編集後記

by 宇野

先日、着なくなった服を売りに古着屋さんへ行きました。査定が終わわりお金を受け取り、お店を出ようとしたら、UFOキャッチャーを発見! 景品はぬいぐるみではなく、両サイドがロッカーになっている、Nintendo Switchや3DSなどのゲーム機や高額品ばかりが入っていました。キャッチするのは番号が書かれたロッカーの鍵。「運試しだ!」と100円を入れました。すると、狙いとは違う鍵にうまく引っ掛かり、5番の鍵をゲット!! 5番のロッカーには「?」と書かれており、私のワクワクは最高潮に。鍵を開けると、カタログギフト引換券が出てきました。「あれ? ハズレかな?」そう思いながら、レジに引換券を持っていきました。カタログは後日自宅に郵送され、「3,000円相当かな」とあまり期待せず、とりあえず表紙に書かれたカタログの名前を検索。なんと予想の10倍でした! 母に日ごろの感謝を込めて、神戸ディナークルーズを贈ることにしました。「何を着て行く? ついでにどこ行く?」と相談している時間も楽しいです。今回は思いがけない幸運でしたが、2023年は自分の持っている可能性を伸ばし発展していきたいです! 「伸展」!

Date File

2022年12月末現在

セイノーホールディングス

創 業 / 昭和 5年 2月11日
設 立 / 昭和21年11月 1日
資 本 金 / 42,481百万円
発行する株式の総数 / 794,524,668株
発行済株式の総数 / 207,679,783株
セイノーグループ / 90社
セイノーグループ全従業員数 / 32,532人

輸送グループ 60社 ()内は西濃運輸

従業員数/全職種合計 : 29,384人 (12,746)
路線業務社員: 5,835人 (2,135)
営業業務社員: 11,240人 (6,346)
車 両 台 数 / 全車両合計 : 32,123台 (11,427)
路線車両 : 6,222台 (2,526)
集配車両 : 15,880台 (7,535)
貸切 : 6,327台 (11)
その他 : 3,694台 (1,355)

拠 点 数 / 758ヶ所 (127)
I S S O 取 得 店 所 / 263ヶ所 (115)

自動車販売グループ 9社

従業員数 / 1,848人
拠 点 数 / 114ヶ所

関連事業グループ 21社

従業員数 / 1,168人
拠 点 数 / 62ヶ所

SEINO Vol. 362

発行日 2023年2月13日

発行人 / 市橋伸介
編集人 / 国枝美佳子 八田和哉 佐伯尚治 宇野朝香 柏 貴大
森岡大輔
発行所 / セイノーホールディングス ブランド戦略室 大垣市田口町1番地
印刷 / サンメッセ(株)
制作協力 / (株)旭クリエイト

Vol.37

お世話になったあの人、共に働いた同僚。社員の方をリレー形式で紹介し、つないでいきます。ダンボールには紹介された方へのメッセージが掲載されています。

橋本さんへ
業務および営業全般の統括を仰せつかっております。所員に気持ちよく仕事をもらうことで、業務がスムーズに回り、お客さまに喜んでいただく。結果、収支が良くなり、所員へ還元されるという良循環を目指し、力戦奮闘の日々です。

セイノースーパーエクスプレス 小牧支店
橋本雄史副所長 (2004年入社)

橋本さんへ
私が西濃運輸小牧支店在籍時に、組合行事のフットサルを通して仲良くさせていただくようになりました。いつもお忙しい中、サポートをいただいているので、くれぐれもお体に気を付けて、いつまでも男前な橋本さんでいてください!

西濃運輸 名古屋エリア
小川義人副主任 (2015年入社)

エリアの労務担当者として、エリア内各店所の労務面での困りごとを解決するためのサポートをしています。

鈴木さんへ
西濃運輸小牧支店に同居させてもらってから、ひろとさん(鈴木支店長)が転勤されるまでの間、困ったときにはいつもお力添えをいただきました。帰省された折には、また食事に連れて行ってください。

西濃運輸 伊勢支店
鈴木洋寿支店長 (1989年入社)

川崎さんへ
私が小牧支店CMの時に支店長、静岡支店課長の時にエリア統括と公私にわたりお世話になりました。CMの時から従業員との関わり方、管理する者の立ち振る舞いなどを大変勉強させていただきました。今後ともご指導よろしくお願いたします。

西濃運輸 静岡エリア
川崎寛樹統括マネージャー (1989年入社)

店所長と共にあるべき姿を設定し、目標達成に向けた行動を行っております。また、現場で働く従業員とコミュニケーションをより多く取り、「一つ一つの行動、一日一日の思い、一人ひとりの命」3つの大切を伝えることを責務として、行動しております。

ロジの営業サポートをしています。部署内で構築した各案件の計画に基づき、保管や輸送を担うグループ会社などと連携を取り、その計画を滞りなく行います。

西濃運輸 小牧支店
寺下國寿副主任 (2008年入社)

寺下さんへ
小牧支店研修の際、安全な運転の仕方や車両点検の方法などをご教授いただきました。プライベートでも仲良くさせてもらい、一緒にお出かけすることも多々ありました。小牧支店の皆さまのおかげで、充実した研修期間になりました。これからもよろしくお願いたします。

西濃運輸 小牧支店
寺下國寿副主任 (2008年入社)

セプティアンさんへ
2017年の小牧支店研修生として出会い、あの頃から流暢な日本語で楽しませていただきました。現在、グローバル開発チームでご活躍されているとお聞きしております。持ち前の明るさとガッツで、お客さまとのつながりを広げ、SEINOファンを増やしてください。

西濃運輸 小牧支店
寺下國寿副主任 (2008年入社)

寺下さんへ
小牧工務で近隣店所の車検・定期点検・修理などを担当しています。安全最優先で日々の業務をしています。

西濃運輸 東京本社ロジスティクス部
セプティアン エカ プラタマ班長 (2017年入社)

南部さんへ
南部さんが小牧支店内にてドライバー業務をされていた時に、仕事やプライベートで大変お世話になりました。今後ともよろしくお願いたします。さらなるご活躍をお祈りいたします。

西濃運輸 小牧支店
寺下國寿副主任 (2008年入社)

次号は、西濃名古屋エクスプレス 南部秀和業務課長からスタートです!!

あの日 あの時 伝えなかった

ありがとうでつながる

今号では、お客さまに丁寧な対応をしたことで、ありがとうの言葉をいただいた4名の方を紹介します。

※2022年月6～8月にドミノ通達で配信された「ありがとうでつながる」壁新聞のダイジェスト版

西濃運輸 【堺支店】



対応した営業乗務社員
磯貝英樹さん
(1999年入社)



対応した営業乗務社員
信貴智也さん
(2018年入社)

磯貝さんと信貴さんは、1本50kgの重量物4本の配達に2マンで伺いました。配達先の公民館で、それを女性2名が部屋の奥まで台車で運ぶと聞きました。高齢の方が多数利用されていたため、万が一、利用者がけがをしては大変だと思い、2人で部屋の中まで運びました。

後日、お客さまから「重い荷物を丁寧に運んでいただき、大変感謝しました」と感謝の言葉が届きました。磯貝さんと信貴さんは「当たり前のことをしただけですので、『感謝の言葉』をいただき驚いております。今後もお客さまに褒めていただけるセールスドライバーを心がけてまいります」と語ってくれました。

西濃運輸 【広島支店】



対応した営業乗務社員
田村隆志さん
(2010年入社)

田村さんは配達を終えてトラックに戻る際、年配の方に「2階のお店に行きたいのですが、エレベーターはないですか?」と尋ねられたため、「このビルには階段しかないですよ」と答えました。その方は押し車を使って歩いていたので、階段を上がる時に落ちてけがでもしたら大変だと思い、押し車を持って一緒に2階に上がりました。その時、ちょうど娘さんが来られ、お礼を言われました。

日ごろから目配り・気配りを行っている田村さんは、感謝の連絡をいただいたと聞き、「私が何気なくしたことで感謝の連絡をいただき、驚きました。業務にも生かしていけるように頑張っていこうと思います」と語ってくれました。

西濃運輸 【尼崎支店】



対応した社員
八尾昇吾さん
(2017年入社)

八尾さんは、商品の引き取り場所が分からず迷っていたお客さまを見かけたため、その方にお声がけしました。ホーム上はフォークリフトや台車などでの作業中だったため、ホーム下で待機していただき、商品をお渡ししました。

丁寧な対応をしたことで、お客さまからお褒めの言葉をいただいた八尾さんは、「お言葉を励みに、これからもより一層親切・丁寧を心がけ、お客さま目線で接客し、もっと多くのセイノーファンを増やしていきたいと思います。これからも一生懸命に努力します」と今後の想いを話してくれました。